

# 認知機能と健康チェック

## 弘大・弘前市、7年目調査開始

高齢者の認知症と健康状態との関連などを2025年度まで10年間追跡調査する、弘前大学と弘前市の「いきいき健診」の本年度健診が25日、同市岩木文化センターで始まった。31日までに約800人が参加する予定。(赤田和俊)

## 800人、高齢者健診兼ね



弘大や九州大学などが全国8拠点、約1万人を調査する事業の一環で、市の高齢者健診を兼ねる。今回の参加者は16、18、20年と隔年で検査を受けた人で、約2時間かけて20ブースを回り、身長体重や味覚、歯科、歩行速度、指先の器用さなどを調べた。

健診を終えた同市浜の町の島田義之さん(82)は「初健診以来、衰えを意識しながら健康管理するようになった。さまざま検査を無償でやっていただきありがたい」と話した。

同健診では、内臓脂肪量と認知機能低下の関係を示すデータが論文発表され

健診では高齢者の指先の器用さなどを調べた。25日、弘前市岩木文化センター

るなど成果を上げている。弘大医学研究科の中路重之特任教授は「(継続的な調査で)認知症の進み方を解明したい。健診を楽しみにしている人も多く、ありがたい」と語った。